

2014 年 6 月 17 日

エジプト大塚製薬 エジプトの輸液製造販売会社を買収

大塚ホールディングス株式会社の子会社であるエジプト大塚製薬株式会社(本社:エジプト テンス・オブ・ラマダン市、代表取締役社長:アハメド・ザグロール、以下「エジプト大塚」)は、エジプトの輸液製造販売会社のアテコ・ファーマ・エジプト社(本社:エジプト エル・オボウ市、会長:モハメド・アティーク、以下「アテコ社」)の持分^{*}の80%を取得し、子会社化することでアテコ社と合意し、2014年6月17日に契約を締結しました。

エジプト大塚は、1977年、カイロ市パブリック・フリーゾーン(輸出特別地区)に設立した「アラブ大塚製薬株式会社」を前身に、エジプト国内市場への製品供給を可能にすべく、テンス・オブ・ラマダン市に1992年に設立された会社です。同社はエジプトおよび近隣の中東・アフリカ諸国に輸液や治療薬を製造、販売してまいりましたが、市場の需要の増大に伴い、製造能力が限界に近づいてきたことから、早急な製造能力拡大が求められていました。

こうした状況の下、エジプト国内で上位の販売シェアを有する輸液製造販売会社であるアテコ社と交渉を重ねた結果、エジプト大塚がアテコ社を買収することで合意いたしました。これにより、エジプト大塚の輸液の製造能力は現在の1.5倍となり、高まる輸液市場からの需要に十分応えられる体制が整うこととなります。

買収後のアテコ社の社名は「大塚アテコ・ファーマ・エジプト社」とし、エジプト大塚製薬の株主である株式会社大塚製薬工場とも連携しながら、エジプト国内のみならず、広く中東・アフリカ諸国にも高品質な輸液製品を供給していく予定です。

大塚グループは、今後も「Otsuka-people creating new products for better health worldwide」の企業理念のもと、世界の人々の健康に寄与してまいります。

^{*} リミテッド・パートナーシップ(日本の合資会社に相当)の会社形態をとるアテコ社に対し、出資者が有する地位・権利。

会社概要

アテコ・ファーマ・エジプト社 (Ateco Pharma Egypt)

設 立 : 1994 年 11 月 14 日
資 本 金 : 2,500 万エジプトポンド(約 3 億 6,000 万円)
代 表 者 : 会長 モハメド・アティーク
所 在 地 : エジプト エル・オボウ市工業団地(B)
従 業 員 数 : 150 名(2014 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 医薬品の製造販売

エジプト大塚製薬株式会社 (Egypt Otsuka Pharmaceutical Co., S.A.E.)

設 立 : 1992 年 7 月 15 日
資 本 金 : 800 万米ドル
代 表 者 : 代表取締役社長 アハメド・ザグロール
所 在 地 : エジプト テンス・オブ・ラマダン市、B3
従 業 員 数 : 745 名 (2014 年 3 月 31 日現在)
事 業 内 容 : 医薬品の製造販売